

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	住宅販売会社（従業員）	・来客数が増加しており、具体的な商談も増えていることから、受注増加が見込まれる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街にある大型店のリニューアルオープン、新規オープン、改装等があり、人通りが増えている。
		スーパー（店長）	・今年は気温の上昇が早く、夏物商戦に好材料である。
		スーパー（企画担当）	・花見需要、初夏物の動きが3月に前倒しになったため、今月は若干の落ち込みがあるが、客の購買意欲に好転がみられる。
		家電量販店（店長）	・ワールドカップの需要、家電リサイクル法の影響による買い控え傾向の落ち着きが期待される。
		乗用車販売店（従業員）	・今後発売される新型車に期待される。
		通信会社（営業担当）	・買い控えの我慢も限界が来ていることから、春夏物、ブランド物が売れ出しており、購買意欲が旺盛になってい
		観光名所（職員）	・築城400年祭のイベントがあり、多少の増員が見込まれる。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	・住宅関連、事業用の土地の引き合いがやや多くなっている。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・来客数の低迷が続いており、また、購買を刺激する材料も見当たらない。
		百貨店（売場主任）	・これから夏物シーズンを迎えるが、客の購買意欲があまり感じられない。また、単品買いの客が増えており、客単価も厳しい。
		百貨店（営業担当）	・ファッション関連は、コーディネート購入が続いている。また、有名ブランド商品も一部に翳りが見られるが、購入意欲は高水準を維持している。しかし、目的買い商品以外に対する購入意欲は低い。
		百貨店（営業担当）	・客単価は大きくは落ち込んでいないが、来客数が減っている。必要な物以外は買わないという傾向が続いている。
		スーパー（財務担当）	・売上は回復してきているが、客単価は昨年10月以降、毎月下落しており、過去最低となっている。
		衣料品専門店（店長）	・必要な物は買うが、衝動買いは全くなく、選ぶのも慎重である。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入が当分なく、購入者が増えるとは思えない。
		乗用車販売店（営業担当）	・目新しい商品がなく、厳しい状況が続く。
		旅行代理店（経営者）	・2、3か月先の見積、受注は、前年同期とあまり変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者数は、前年を上回って推移しており、今よりは悪くならない。
		設計事務所（所長）	・分譲マンションの勢いに翳りがみえる。
住宅販売会社（従業員）		・受注価格の低下傾向と客の慎重な考えはあまり変わらない。	
やや悪くなる	スーパー（店長）	・来客数は2ケタの増加をしているが、単価、購入点数ともに伸びていない。	
	乗用車販売店（従業員）	・現段階で良くなる要素が何も見あたらない。	
	設計事務所（職員）	・今年度の公共事業の減額率が確定しており、地方自治体から受注が減ってくる。今年1年はかなり悪くなる。	
悪くなる	コンビニ（店長）	・売上の減少が続いているが、今月は落ち幅が大きい。特に酒類は、完全にビールから発泡酒に切り替わっている。	
	通信会社（企画担当）	・通話料が非常に少なくなってきた。客の財布が固くなっている。	
企業動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	家具製造業（営業担当）	・4月実績、5月の出荷見込みを見ると、今が底である。得意先の状況から、6月後半以降、少々持ち直す気配がある。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・投入した新商品が少しずつ受注につながっている。
一般機械器具製造業（経理担当）	・得意先の仕事見込みが好転してきたためか、買換えによる受注が増えている。また、複数台の受注も出てきてい		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・売上は多少上がっているが、単価が低下しており、利益を圧迫している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・クレーンの総需要は3か月連続で前年を下回っている。クレーンのチャーター料金の回復が見込まれない中では、新車の販売意欲は出てこない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・見積件数は、例年と変わらない。また、こちらから提案してもあまり反応がない。設備投資は、慎重である。
		輸送業（配車担当）	・荷動きは、若干動いているようにも取れる。しかし、景気が良くなると感じるほどではない。
		広告代理店（経営者）	・新聞、テレビなどマス媒体の出稿量が低迷しており、今後の見込みも厳しい。
		公認会計士	・取引先の倒産の噂が絶えない。取引先の決算数値を見ても、急激に景気が良くなる兆しはない。
	やや悪くなる		
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	・リストラなど暗い話は聞かなくなったが、企業の採用意欲は弱く、人材確保より仕事量の確保に必死である。
		職業安定所（職員）	・求職者の増加が止まらず、高水準で推移している。求人については、臨時契約、雇用期間など、不安定要素のある求人が多く、正社員の増加が見られない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・取引先企業の業績悪化による派遣契約の終了、あるいは、基幹支店への業務集約による派遣契約の終了というケースが出ている。また、料金の安い派遣会社への移行が見られ、人件費にシビアになっている。
		職業安定所（職員）	・求人数の減少とあわせて、パートや賃金水準の抑制傾向が強まっている。
	悪くなる	-	-